



鍾秀だより

南陽市立宮内小学校
南陽市宮内 3415 番地
電話 47-2106
校長 吉水 順一

令和7年度 宮内小学校教育目標

『未来を生きぬくたくましい鍾秀っ子の育成』

卒業証書授与式まで、登校日15日を切りました。

6年生47人の卒業プロジェクトの取組が日々の活動の様々な場面に活かされています。子どもたちは毎日の生活の中で、「6年生として何ができるか」を考え、行動しようとする姿勢を示しています。

「雪かきボランティア」

1月末から厳しい冷え込みが続き、積雪もありました。登校した6年生が進んで雪かきをしてくれています。その頼もしい姿から、学校を支える存在としての大きな役割と存在感を感じました。

「あいさつ運動」

宮内小学校をさらに明るい学校にしようと、6年生が毎朝ローテーションで玄関前や各教室を回り、「おはようございます」と元気に声をかけています。その成果が校内にも表れ、1年生から5年生の子どもたちと廊下ですれ違くと「おはようございます」「こんにちは」と気持ちのよいあいさつが返ってきます。また、登校後に2年生の女の子が進んで玄関掃除をしている姿にも心を打たれました。上級生の姿に刺激を受けながら、子どもたちの中に次の学年へ向かう自覚と意欲が高まってきていることを感じ、たいへん頼もしく思います。



児童会役員引継ぎ式

18日(水)に児童会役員引継ぎ式を行い、新計画委員と新委員長が全校児童の前で自己紹介と決意表明をしました。前に立つ子どもたちの姿はとも堂々としており、「学校を引っ張っていく」という強い覚悟が感じられました。また、式後の後片付けを自分たちで進んで行う姿からも、リーダーとしての自覚が伝わってきました。

24日(火)以降の児童会活動は、5年生が新6年生として中心となって進めていきます。来年度のよりよい宮内小学校を目指し、最高学年としての自覚をもって活動できるよう、引き続き指導していきます。



授業参観・学級懇談会・PTA 評議員会へのご参加ありがとうございました。

2月13日(金)に、今年度最後の授業参観・学級懇談会を行いました。多くの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの頑張る姿をご覧いただきましたこと、心より感謝申し上げます。授業では、発表や話し合いに意欲的に取り組む様子が見られました。お父さんやお母さんに見守られていることを励みに、緊張しながらも、いつも以上に張り切っている姿が大変印象的でした。

当日は積雪のため、十分な駐車スペースを確保することができませんでしたが、保護者の皆様のご協力により、大きな混乱もなく無事に終わることができました。学級懇談会にも多数ご参加いただき、ありがとうございました。

また、15時50分より「PTA評議員会」を開催しました。今年度の各部・各委員会の活動報告および中間決算報告がなされ、全て承認していただきました。さらに、新三役についても選考委員会より提案があり、ご承認いただきましたので、ここにご紹介いたします。

令和8年度

| | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 会 長 | 高橋 寿人さん | | |
| 副 会 長 | 板垣ともみさん | 大場志穂実さん | 岩谷 義仁さん |
| 監 事 | 竹田 竜大さん | 加藤 由和さん | 三浦 隆稔さん |



学級懇談会の中で「SNS との付き合い方」について、子どもたちのアンケートを基に情報交換を行いました。以下のような保護者の皆様のご意見をお聞きすることができました。

<家庭で工夫されていること・上手に付き合っていること>

- ・YouTube は主にリビング等のテレビやスイッチ等を使用し、親がいる空間で使っていることが多い。
- ・フィルタリングをしている家庭も、「フィルタリングをしていること」、「何のためにしているのか」を、端末ごとに子どもに説明し、伝えなければならぬ。
- ・「宿題が終わったら」という約束を守らせたり時間を決めて使わせている。
- ・家庭にタブレットを持ち帰って、学校で学習したことの続きを楽しそうに進んで取り組んでいる。
- ・個人のスマホを与えているが、与える前に子どもと使い方の約束をした。タイマーをかけて時間でやめることができている。目に見えると子ども自身が残り時間を意識することができているようだ。



グラウンドで雪だるまづくり(1年生)

<学校や家庭でともに考えていかなければならないこと>

- ・ゲームやタブレットの使い方には危機感を持っている保護者が多かった。
- ・「携帯を欲しがっているがどうしたらよいか。みんなが持っているという、なかなかだめだと言いくくなる。」

フィルタリングはしている家庭がほとんどの中、「わからない」という保護者も数名おりました。特に問題のある使い方は確認できませんでしたが、危険性についてお子さんとよく話し合うことが大切であると確認しました。また、GIGA タブレットは学習以外には使用しないこと、許可なく安易に他人の写真や動画を撮影したり、撮影したものを勝手にネット上にアップしたりすることの危険性について学校で指導をしています。保護者の責任の下、使いながら学んでいく時代になりました。そこで、使い方・約束・危険性を家庭内で話し合ったり、使用状況の管理をしていただいたりする必要があります。子どもが「被害者」「加害者」にならないよう守るのが大人の役割です。それを強く認識していく必要があると考えます。

全員で卒業をお祝いしました

2月18日(水)、沖郷公民館において南陽市教育研究会小中特別支援教育研究部会主催の「卒業祝賀会」が行われました。本校のひまわり学級、たんぼぼ学級の全員が参加し、小学校や中学校を卒業するお友達を心からお祝いしました。セレモニー終了後は、全員で会食も行い、和やかな雰囲気となりました。

